

# わかぎのなかま

北原忠平 作詞  
宵 久幸 作曲

♩ = 118 Eb Fm Eb Gm

きみと はじめで あったときに まな  
みんな げんきに わらったときに まぶ

5 Ab Eb Cm F7 Bb

つのかぜを かんじていた  
しいひかり かがやいてた

9 Eb Fm Eb Gm

ぼくは ちょっぴり ふあんでいたけど あり  
ぼくの げんきと みんなのえがおが あり

13 Ab Eb Fm Bb7 Eb Cm

がとうで ときめいた おなじところで  
がとうで きらめいた おなじところで

18 Cm Eb Ab

わらい あえれば なんでもいえる  
たすけ あおうよ なんでもできる

22 Bb F7 Bb Eb

なかまになれる ありがとう おおきなこえで  
なかまになる う

26 Eb

ワン ツー スリー フォー ありがとう わをひるげてく ワン ツー スリー フォー

30 Eb Fm Bb7 Eb

ありがとう ありがとう あるいていこう

一、君とはじめて 出会ったときに  
真夏の風を 感じていた  
ぼくはちよっぴり 不安でいたけど  
ありがとうで ときめいた  
同じところで 笑い合えれば  
何でも言える 仲間になれる  
ありがとう 大きな声で  
ありがとう 輪を広げてく  
ありがとう ありがとう

二、みんな元気に 笑ったときに  
まぶしい光 輝いていた  
ぼくの元気と みんなの笑顔が  
ありがとうで きらめいた  
同じところで 助け合おうよ  
何でもできる 仲間になろう  
ありがとう 大きな声で  
ありがとう 輪を広げてく  
ありがとう ありがとう